



2023年12月15日

各 位

会 社 名 ウェルス・マネジメント株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 千野 和俊
(コード番号：3772 東証スタンダード)
問合せ先 企 画 部 長 村松 慎太郎
(電話番号 03-6229-2129)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、業績の動向等を踏まえ、2023年5月11日付「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表しておりました2024年3月期通期の連結業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期通期 連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	20,000	7,000	7,500	4,500	239.80
今回発表予想 (B)	15,000 ～16,000	3,500 ～4,500	3,000 ～4,000	2,000 ～2,500	105.75 ～132.19
増減額 (B-A)	△5,000 ～△4,000	△3,500 ～△2,500	△4,500 ～△3,500	△2,500 ～△2,000	
増減率 (%)	△25.0 ～△20.0	△50.0 ～△35.7	△60.0 ～△46.7	△55.6 ～△44.4	
(参考) 前期連結実績 (2023年3月期通期)	14,800	3,814	3,925	3,733	213.65

2. 修正の理由

最新の動向をもとに精査を行った結果、以下を主因として今期の通期連結業績予想について下方修正を行うものです。

- (1) サムティ株式会社との業務提携解消に伴う J-REIT 上場延期により、当社グループが保有するホテルアセットの今期中の上場 REIT への拠出が困難となり、出口戦略を変更した案件の収益の見込みが減少したこと
- (2) 新規ホテル開発案件において、コスト（建築費・資材費）の増加により、今期に予定していた収益の見込みが減少したこと

今後の事業の見通しについては本日開催予定の第2四半期決算説明会 ※1 でもご説明する予定ですが、今期中は、当社グループが保有するホテルアセットの上場 REIT への拠出に代わる戦略として外部投資家との連携や STO※2 によるブリッジファンド組成等の多様な戦略を検討している他、保有するホテルアセットのうち、ラグジュアリー、アッパークラス以外の外部売却等も検討して参ります。

なお、現時点ではコスト（建築費・資材費）の増加が先行して顕在化しておりますが、足下のインフレにより遅行的にホテルの ADR（平均客室単価）や賃料も上昇基調、不動産及びホテルのマーケット環境は堅調に推移していることから、将来的に現時点のコストの増加は相殺され、当社グループが保有するホテルアセットの価値に反映されるものと考えております。

従って、現時点では今期の収益を優先するか、来期以降の収益最大化を優先するかの経営判断を慎重に行っているところであり、業績の動向を精緻に予測することは困難であるため、今期の収益を優先した場合を上限とし、今期の収益化を急がずに来期以降の収益最大化を優先した場合を下限としたレンジ形式による業績予想開示といたします。

上記予想は、現時点で当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※1 2023年11月10日付「第2四半期決算説明会 開催のお知らせ」 <https://pdf.irpocket.com/C3772/MH4b/viXK/si70.pdf>

※2 Security Token Offering の略。デジタル証券を発行し資金調達を行う手法のことで、不動産などの有価証券を電子的に表現し、ブロックチェーン技術を用いて取引される。

以 上